



石尊山登山

平成20年度の主な活動

- 5月10日 軽井沢野鳥の森で自然学習
- 6月14日 石尊山登山
- 7月 5日 湯の丸高原・池の平で植物観察
- 8月 2日 キャンプ(軽井沢で1泊2日)
- 10月 4日 浅間火山博物館見学
- 11月22日 冬鳥の観察(佐久市 千曲川東京電力調整池)

ふるさとの自然が先生！ こども自然探検隊、浅間山の恵みを学習

浅間山の自然を

観察しているのは小さな探検隊員。

子どもたちの好奇心が自然の中で育ち、ふるさとを守るこころが生まれる。

浅間山の恵みである豊かな自然を次の世代につなげていくために、子どもたちが自然に親しむ活動が行われています。こども自然探検隊は、小学生を対象とした学習会で、指導者には自然観察インストラクターなどの専門家とボランティア、そして元隊員である中学生・高校生があたっています。平成5年の発足以来、毎年5月から11月まで活動しています。(全6回)

活動内容は、石尊山を登山して、その途中にある血の池、

血の滝を観察したり、火山博物館で浅間山の歴史を学んだり、みんなで協力してキャンプをするなど、さまざまなことに取り組んでいます。

自然の大切さを学ぶと同時に、低学年から高学年が一緒に、低学年から高学年が一緒に、指導者の方との世代を越えた交流が、子どもたちを大きく成長させています。

問い合わせ先

教育委員会生涯学習係

(32) 2700

こども自然探検隊心得

- 私たちは、自然を勉強して自然を大切にします。
- 私たちは、だれにでもきちんとあいさつをします。
- 私たちは、くるしいことがあってもがまんして、がんばります。
- 私たちは、人にめいわくになることは注意し合います。

子どもたちと共に学ぶ

委員長 伊東仁美

今年も公民館事業の「こども自然探検隊」が実施されました。平成4年度から学校の第2土曜日が休日になったことから、翌年に始まり本年度16年になりました。

私たちの最も身近な浅間山の自然を教材にし、自然に接し理解すると共に、その厳しさと豊かな恩恵を知り、未知への冒険心・好奇心を育て、自然を大切に、守ろうとする心を育むことを狙いに行っています。

もう一つ重要な目的は、青少年健全育成です。異年齢集団の中で、人との触れ合いを

通じて思いやりの心を育て人間的な成長を目指しています。

当初、町内の登山・地質植物・野鳥等に造詣の深い皆さまに呼び掛け「自然を考える委員会」が発足しました。そこで出来た構想を土台に平成5年度、酒井善助氏を委員長として、浅間山を核にした「自然に生き・学ぶ教室」が年間6回実施されたのが始まりです。この教室は信濃毎日新聞や広報「ながのけん」に取り上げられ話題になりました。「翌年」こども自然探検隊」と名称を改め今日に至っております。

その間、御代田町公民館が平成14年度に文部科学省から「優良公民館表彰」を受けました。「こども自然探検隊」10年目で、その実績が高く評価された結果でした。

この事業の企画・運営の一端を担っているのは、地域住民で構成されている委員会です。公民館職員の努力はもちろんです。今までかわつてくださった多くの皆さまの子どもに対する愛情と熱意のたまものです。また運営委員も、子どもたちに接する中で教えられることも多く共に学ばせてもらっています。

最近の傾向として参加希望者が低年齢化しています。しかし、初めての会では下を向いて自己紹介も上手にできなかった子が、終了式の時には見違えるように生き生きとしています。子どもたちの育成の場として「こども自然探検隊」がより発展できればと思っています。

平成20年は、日本人4名がノーベル賞を受賞するという快挙が、連日報道された年末でした。未来の科学者を目指す子どもたちが、ここから育つことも夢では無いでしょう。

こども自然探検隊に参加して

西村紀彦

今年の春から縁あって「こども自然探検隊」の委員として参加させて頂きました。ボランティアというほどの大げさなものではなく、少しでもお役に立つのであればという気持ちでお手伝しております。

こども自然探検隊に参加して感じるのは、それぞれ得意分野を持った委員やサポーターさんたちの話で毎回のようになり感心するやら大いに勉強にも元氣な子どもたちからパワーをいっぱいもらっています。

昨今では技術の進歩により居ながらにして、多くの情報を簡単に得ることができるようになりました。そのことを否定的に考えるつもりはありません。

ませんが、ここで注意しなければならぬのは、それらで得た知識は必ずしも実体験を伴っていないことです。

インターネットやテレビでは土の感触や雪の冷たさは分かりません。転べば痛いし血も出る、やさしくされればうれしい、友達と遊べば楽しい、お母さんに抱かれていて心が安らぐ：知識だけでは得ることのできない大切なものはたくさんあります。

私は子どもたちが自然探検隊での実体験を通して、喜びや悲しみを知り、痛みや相手を思いやる心を学び、危険なことやその時の対応の仕方や防ぐ方法を学んでくれればと思います。



湯の丸高原・池の平、雲上の丘



コマクサの観察



コマクサ



軽井沢野鳥の森



石尊山登山